

令和6年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市新高幼稚園

令和7年3月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

教育目標

元気に やさしく 考える子ども

「元気に遊ぶ子ども」「みんなと仲良く遊ぶ子ども」「自分で工夫し、考える子ども」を基に、幼児期にふさわしい「遊びを通した学び」を大切にした教育を推進し、友達や身近な自然、人々との温かいふれあいのある生活体験により、自他共に尊重しあう心を育む。

令和6年度のクラス編成は、4歳児1学級13名、5歳児1学級19名、計32名である(R6.5.1時点)。2年保育の就園前の生活経験は様々であるが、4歳児で保護者と初めて離れた幼児が、入園後、安心して幼稚園で過ごせるようになるために、教師は、幼児の内面理解に努め、一人ひとりと丁寧にかかわって興味や関心を探り、生活経験や発達の状況に応じた働きかけを工夫することを大切にしている。

本園では幼児の実態を踏まえ、幼児一人ひとりが、安心して、自分らしさを発揮できるように、幼児が自ら、自分なりのペースで環境(人・もの・こと)に関われるようにすることを大切にしている。そうすることで、幼児は、自ら環境にかかわり、「やってみたい」「もっとしたい」という、意欲をもち、試したり、考えたりしながら遊びを繰り返し、いろいろな経験を積み重ねながら沢山のことを学ぶようになるからである。それが、遊びを通して学ぶ姿だと考える。このような姿を育むためには、保護者と連携し、幼児が「幼稚園は楽しい」「友達や先生と過ごすことが楽しい」と感じられる安全・安心な教育環境づくりをすることが大切である。また、教師主導で遊びを与えるのではなく、教師が幼児の思いや願いを汲みとった活動内容や環境構成を工夫することで幼児が主体的に活動できるように働きかけることが必要である。

更に、幼児が自らやりたいことを見つけ、楽しみながら存分に遊ぶようになるためには、十分な遊びの場と時間、多様に人とかかわることができる幼稚園生活の保障が大切であると考えます。本園は、各学年が単学級である。少人数であることをメリットと捉え、日々の生活や行事において、4、5歳児の異年齢交流に意図的に取り組む。それを通して、憧れや思いやりの気持ちをいろいろな人とのかかわりに広げ、小学生や未就園児との交流活動にもつなげていく。

令和6年度からは、新たな取り組みとして、これまで小学校と地域が行ってきた合同防災訓練に幼稚園も保護者と共に参加する。計画段階から小学校、地域と連携していく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

令和7年度の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、お子さまにとって安全で適切な指導を行い、そのための環境づくりに取り組んでいる」

「幼稚園では、すすんであいさつをする幼児を育てる取組をしている」

「幼稚園では、保護者と連携し、幼児の思いや願いを大切にされた保育の中で、主体的に遊ぶ子どもを育てている」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和7年度の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、子どもが自ら興味や関心をもって身近な環境に関わり、主体的に活動する子どもを育てている」

「幼稚園では、遊びを通した学びを大切にされた教育を実践している」

「幼稚園では、基本的な生活習慣を身に付けるような指導を行い、健康的な生活の基礎や体力向上につながる取組をしている」

【学びを支える教育環境の充実】

令和7年度の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、自ら絵本に親しむ子どもを育てる取組をしている」

「幼稚園では、遊びを通して学ぶ子どもの姿を家庭や地域に発信している」

【安全・安心な教育の推進】

令和6年度の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、お子さまにとって安全で適切な指導を行い、そのための環境づくりに取り組んでいる」

「幼稚園では、すすんであいさつをする幼児を育てる取組をしている」

「幼稚園では、保護者と連携し、幼児の思いや願いを大切にした保育の中で、主体的に遊ぶ子どもを育てている」

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

令和6年度の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、子どもが自ら興味や関心をもって身近な環境に関わり、主体的に活動する子どもを育てている」

「幼稚園では、遊びを通じた学びを大切にした教育を実践している」

「幼稚園では、基本的な生活習慣を身に付けるような指導を行い、健康的な生活の基礎や体力向上につながる取り組みをしている」

【学びを支える教育環境の充実】

令和6年度末の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、自ら絵本に親しむ子どもを育てる取り組みをしている」

「幼稚園では、遊びを通して学ぶ子どもの姿を家庭や地域に発信している」

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】

保護者アンケートの結果、

- ・「幼稚園では、お子さまにとって安全で適切な指導を行い、そのための環境づくりに取り組んでいる」については、当てはまるが96.9%、やや当てはまるが3.1%であった。
- ・「幼稚園では、すすんであいさつをする幼児を育てる取組をしている」については、当てはまるが96.9%、やや当てはまるが3.1%であった。
- ・「幼稚園では、保護者と連携し、幼児の思いや願いを大切にした保育の中で、主体的に遊ぶ子どもを育てている」については、当てはまるが93.8%、やや当てはまるが6.2%であった。
- ・どの項目においても、当てはまるが90%以上であり、目標を上回って達成した。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・「幼稚園では、子どもが自ら興味や関心をもって身近な環境に関わり、主体的に活動する子どもを育てている」については、当てはまるが96.9%、やや当てはまるが3.1%であった。
- ・「幼稚園では、遊びを通した学びを大切にした教育を実践している」については当てはまるが96.9%、やや当てはまるが3.1%であった。
- ・「幼稚園では、基本的な生活習慣を身に付けるような指導を行い、健康的な生活の基礎や体力向上につながる取組をしている」については、当てはまるが93.8%、やや当てはまるが6.3%であった。
- ・どの項目においても、当てはまるが90%以上であり、目標を上回って達成した。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・「幼稚園では、自ら絵本に親しむ子どもを育てる取り組みをしている」については、当てはまるが87.5%、やや当てはまるが12.5%であった。
- ・「幼稚園では、遊びを通して学ぶ子どもの姿を家庭や地域に発信している」については、当てはまるが87.5%、やや当てはまるが12.5%であった。
- ・どの項目においても、当てはまるが80%以上であり、目標を達成した。

すべてのアンケートにおいて、肯定的な意見が100%となったのは、本園の教育内容の説明や幼児の育ちの様子に保護者の方が関心をもち、理解していただけただからだと考える。そして、その背景には、幼児の送迎を保護者が行い、毎日教職員と顔を合わせて、話ができ、降園時にその日の保育について、担任から報告できるという、公立幼稚園の特色が「直接的な発信力」として生かされているからだと考える。

【安心・安全な教育の推進】【未来を切り拓く学力・体力の向上】については、当てはまるが90%以上という高い数値であった。しかしながら、【学びを支える教育環境の充実】の各項目では、当てはまるが80%台にとどまっており、他の項目よりも低かった。

・「幼稚園では、自ら絵本に親しむ子どもを育てる取り組みをしている」では、本園の特色でもある絵本室の活用を基盤に、保育では、毎日の読み聞かせを行い、絵本貸し出しで家庭と連携して「絵本に親しむ子どもを育てる」ことに取り組んできた。幼児期に家庭で読み聞かせをする大切さを十分に発信できていたのかを今一度振り返り、次年度の取り組み方を再考する。

・園だよりや保健だより、にいたかようちえんだよりや、園と家庭でつくるファイルも発信のひとつであり、他の2つの年度目標で当てはまるの回答が、96.9%となっているのは、その結果によるものと考えるので、ホームページへの発信内容をより工夫していく必要がある。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】 令和6年度末の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。 「幼稚園では、お子さまにとって安全で適切な指導を行い、そのための環境づくりに取り組んでいる」 「幼稚園では、すすんであいさつをする幼児を育てる取組をしている」 「幼稚園では、保護者と連携し、幼児の思いや願いを大切にした保育の中で、主体的に遊ぶ子どもを育てている」</p>	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育の推進】 園の実態を踏まえた安全指導を行い、保護者と連携して、安全な生活や危機管理への意識を高める。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全指導年間計画を作成し、保護者を含む訓練を年1回以上行うとともに安全だよりを年間5回以上発行、区役所、関係諸機関と連携した安全指導を年3回以上行う。 年2回、登降園時や通園経路の「ヒヤリハット」を保護者から聞き取り、現状を踏まえて、安全な登降園について啓発する。 新高幼小地域の合同防災訓練に計画段階から連携し、園児、保護者と共に参加する。（2月実施） 	A
<p>取組内容②【2 豊かな心の育成】 園と保護者が連携して、すすんであいさつをする子どもを育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達や身近な人に親しみをもってあいさつを交わす経験ができるよう、年に3回以上、朝のあいさつ週間を設ける。 異年齢で当番する機会を設ける。 P T Aと連携し、あいさつ週間に合わせて、保護者の登降園児の安全指導を行い、見守りと共にあいさつ指導を行う。（80%以上の保護者が年1回以上当番として参画する） 	B
<p>取組内容③【2 豊かな心の育成】 一人一人の幼児の実態を捉え、思いや願いを大切にした保育を通して、園生活を楽しむ幼児を育てる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児理解のための検討会を月1回実施する。 幼児の心と体の安心・安全のために、関係諸機関と連携すると共に、幼児の発達や特別支援に関する研修を全教職員が1回以上参加する。 個人ファイルに幼児の絵や写真を記録し、園と保護者がそれぞれにコメントを記入して、幼児の遊びを通じた学びを共有し、幼児理解を深める。 	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容①</p> <p>○安全指導年間計画を作成し、保護者を含む訓練を年1回以上行うとともに、安全だよりを年間5回以上発行、区役所、関係諸機関と連携した安全指導を年3回以上行うについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間計画に基づき、避難訓練・交通安全指導・防犯指導を実施することができた。 1月には、新高小学校と合同避難訓練を行った。事前に小学校と幼稚園とで合同の指導 	

案を作成・共有し、避難経路や教職員の役割分担を見直したうえで、訓練に臨んだ。訓練後の反省には互いの気づいたことや課題を書面で共有した。次年度以降に生かしたい。

- ・今年度、防災バックを新調し、中身についても点検・検討をし、教職員の防災の意識を高めた。1月の小学校との合同避難訓練を経て、トランシーバーのチャンネルを合わせて、小学校との連携がスムーズにした。
- ・9月以降に配布した「あんぜんだより」は以下の通りである。
12月 NO5 不審者の対応について
2月 NO6 合同防災訓練

○年2回、登降園時や通園経路の「ヒヤリハット」を保護者から聞き取り、現状を踏まえて、安全な登降園について啓発するについて

- ・今年度は、10月と2月に家庭や通園経路で起こった「ヒヤリハット」について、保護者から記述式アンケートで聞き取った。2回目のアンケートでは、1回目のアンケートで書かれた内容について改善された点や工夫した点などを聞き取り、安全な登降園について意識を高めることができた。

○新高地域・小・幼合同訓練に計画段階から連携し、園児、保護者と共に参加するについて

- ・12月、新高地域、新高小学校と関係諸機関との打ち合わせに幼稚園も参加し計画をすすめた。予定通り2月の合同避難訓練に、保護者と共に参加した。
地域の一員として参加し、様々な体験を通して、防災・減災の意識を高めることができた。

取組内容②

○友達や身近な人に親しみをもってあいさつを交わす経験ができるようにする

○異年齢で当番する機会を設けるについて

- ・12月には4・5歳児合同で、希望制のあいさつ当番を実施した。寒くなってきた時期にも関わらず、85%の幼児が、あいさつ当番をしたいと申し出て、実施することができた。これまでの経験から、朝、元気よくあいさつを交わすことで、気持ちよく1日のスタートを切れる。登園時間が遅くなりがちだった幼児も、これをきっかけに開門時間内に登園しようとする姿が見られた。

○PTAと連携し、あいさつ週間に合わせて、保護者の登降園児の安全指導を行い、見守りと共にあいさつ指導を行う。(80%以上の保護者が年1回以上当番として参画する)について

- ・前期は9月に、PTA地域委員会が安全旗を持って通用門付近で見守り、安全指導をした。通園路の安全な歩き方をより意識してもらうとの趣旨で、後期は、委員会の枠をとって、全保護者の80%以上の方に安全指導に参加してもらう予定にしていた。しかし、保護者の方の安全への意識が向上し、安全な登降園が定着していたことから、2回目は実施しなかった。

取組内容③

○幼児理解のための検討会を月1回実施するについて

- 9月～11月 運動会や作品展などの行事に向けて、支援が必要な幼児にとって、負担が少なくなるような参加の仕方や手立てについて、保護者と相談し、教職員間で共有した。

- 12月 個人懇談会を実施した。特に5歳児は進学に向けて、幼稚園での姿を保護者に知らせ、家庭と連携した。

1月～2月 スムーズな就学のため、各小学校と連携して、日頃の幼児の様子や支援の方法について情報共有した。

○**幼児の心と体の安心・安全のために、関係諸機関と連携すると共に、幼児の発達や特別支援に関する研修を全教職員が1回以上参加するについて**

- ・全教職員が、特別支援教育に関するオンデマンド研修を受講し、合理的配慮の大切さを再確認した。

○**個人ファイルに幼児の絵や写真を記録し、園と保護者がそれぞれにコメントを記入して、幼児の遊びを通した学びを共有し、幼児理解を深めるについて**

- ・昨年度に引き続き、個人ファイルを作成し、幼児の育ちを共有した。1学期末には幼児の遊びの姿の写真をファイルし、保護者からその姿を見て感じたことをコメントしてもらい、それに返す形で幼稚園側からコメントをした。2学期末はその反対にし、幼児の遊びの姿から幼稚園側から読み取ったことをコメントし、保護者はそれに返す形でコメントをしてもらった。一人ひとりの幼児の育ちについて家庭と共有している。

次年度への改善点

取組内容①

- ・引き続き年間を通して、避難訓練や安全指導を行い、防災への意識を高めていく。
- ・登降園時の交通安全について、引き続き保護者への啓発を行い、親子で意識を高められるようにしていく。
- ・今後の避難訓練に、「子どもの安全を守るための防災・減災指導の手引き」を参照し、自園の避難訓練の計画案を検討していく。

取組内容②

- ・次年度も、計画的にあいさつ運動を行い、進んで元気にあいさつをできるようにする。

取組内容③

- ・次年度も、インクルーシブ教育に努め、教職員の研修を積極的に受講する。

大阪市立新高幼稚園 令和6年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】 令和6年度末の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。 「幼稚園では、子どもが自ら興味や関心をもって身近な環境に関わり、主体的に活動する子どもを育てている」 「幼稚園では、遊びを通した学びを大切にした教育を実践している」 「幼稚園では、基本的な生活習慣を身に付けるような指導を行い、健康的な生活の基礎や体力向上につながる取り組みをしている」</p>	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【3 幼児教育の質の向上】 就学前教育カリキュラムを参考にし、園の実態を踏まえて教育課程を見直す。 指標・子どもが自ら身近な自然に興味や関心を持ち、遊びに取り入れられるよう、学期に1回以上、園内の環境を見直す。 ・小学校との連携に取り組む。(年間2回以上の幼児・児童の交流活動、1回以上の教職員の交流を実施する) ・園の特色や幼児の姿を踏まえて行事のねらいや活動内容を見直し、教育課程に反映する。</p>	A
<p>取組内容②【5 健やかな体の育成】 一人一人の実態を踏まえて、遊びの中で、多様に体を動かすことを楽しめるよう教材や環境を工夫する。 指標・毎月の誕生会や集会を活用し、園全体で遊びを共有しながら、友達と一緒にダンスや体操を楽しめるようにする。 ・安全に遊ぶことができるよう、安全点検(毎日、毎月)をし、環境を整える。</p>	A
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】 基本的な生活習慣を身につけるとともに、心の健康を育む。 「早寝、早起き、朝ごはん、排泄、歯みがきの指導の継続と、生命(いのち)の安全教育を通して心の健康を図る。 ・学期に1回程度、基本的な生活習慣に関する指導を継続し、基本的な生活習慣間の大切さを知らせる。 ・文部科学省の教材などを活用しながら、年2回程度、生命(いのち)の安全教育を行い、自分を大切にす気持ちをもたせる。</p>	A
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>取組内容① ○子どもが自ら身近な自然に興味や関心を持ち、遊びに取り入れられるよう、学期に1回以上、園内の環境を見直すについて</p>	

- ・10月には個人で冬野菜を栽培した。親子で水やりや虫の駆除をしながら、生長・収穫を楽しんでいる。毎日子どもたちが野菜の観察をしていたので、1月頃、ブロッコリーの葉がかじられていることに気付いた。観察した結果、鳥だと分かり、鳥被害の対策をした。幼児は、ネットを外して水やりをするなど、自分の栽培物への思いをもって、大切に育てる姿が見られた。

○小学校との連携に取り組む。(年間2回以上の幼児・児童の交流活動、1回以上の教職員の交流を実施する)について

- ・10月以降の小学校との連携については以下のとおりである。
 - 【11月】・2年生「地域探検」
 - 生徒が幼稚園の先生にインタビューをして、答える。
 - 後日、子どもたちからお礼の手紙が届いた。
 - ・互いの作品展を観覧
 - 小学校の作品展を幼児が観覧し、小学生への憧れの気持ちが高まった。
 - 幼稚園の作品展は小学校の校長先生が観覧してくださった。
- 【1月】
 - ・合同避難訓練
 - ・栄養教諭による給食の講話(保護者の方向けに)
- 【2月】
 - ・地域小幼合同防災訓練
 - ・学校探検(5歳児)

○園の特色や幼児の姿を踏まえて行事のねらいや活動内容を見直し、教育課程に反映するについて

- ・以前は2月の生活発表会に、劇遊びと楽器遊びの2つを発表していたが、12月に楽器の発表、2月に劇遊びの発表と分けたことで、幼児も集中して1つ1つの活動をすすめられたり、気持ちにゆとりをもって活動に取り組んだりすることができた。

取組内容②

○毎月の誕生会や集会を活用し、園全体で遊びを共有しながら、友達と一緒にダンスや体操を楽しめるようにするについて

- ・誕生会では毎月、新しいダンスや体操を紹介し、異年齢で交流しながら遊べるように工夫した。

12月・・・サンサンサンタ	1月・・・温泉体操
---------------	-----------

○安全に遊ぶことができるよう、安全点検(毎日、毎月)をし、環境を整えるについて

- ・日頃から、大型遊具、その他の遊具、砂場や花壇など、園内外の安全点検、衛生管理を毎日点検している。毎日の点検からのぼり棒の劣化に気付くことができ、事故を未然に防ぐことができた。

取組内容③

○学期に1回程度、基本的な生活習慣に関する指導を継続し、基本的な生活習慣間の大切さを知らせるについて

- ・基本的な生活習慣に関する保健指導を学期に4回行った。

4月 早寝、早起き、朝ごはん	5月 手洗いの仕方
6月 むし歯の予防、歯のみがき方	9月 排便について
12月 手洗いの仕方	1月 睡眠について

基本的な生活習慣に関する保健指導を学期に1回程度行った。絵本や紙芝居、視覚教材を多く用いながら指導したことで子どもに分かりやすく伝えることができた。手洗いの際に石鹸を使って手を洗ったり、歯みがきの際に手洗い場の鏡や歯のみがき方の掲示物を見ながら歯をみがいたりなど、手洗いや歯みがきを丁寧にしようと意識して取り組

む子どもの姿が多く見られるようになった。また、毎月の保健だよりに基本的な生活習慣に関する情報、保健だよりや園のホームページに保健指導の内容や教材、子どもの様子などを掲載したことで、保護者にも基本的な生活習慣の大切さを知らせることができた。保護者から、外から帰ったらすぐに石鹸で丁寧に手を洗っている、毎日の早寝早起きが身に付いてきた、朝の排便の大切さを知って子どもに毎朝トイレを促したら朝に排便できるようになったなどの声を聞くことができた。

○文部科学省の教材などを活用しながら、年2回程度、生命（いのち）の安全教育を行い、自分を大切にすゝる気持ちをもたせるについて

10月 体の部位の名称について 11月 プライベートパーツについて

生命（いのち）の安全教育に関する保健指導を年2回行った。10月に視覚教材を用いて体の各部位の名称を知らせる指導を行い、体のどの部位も大事なので、自分の体を大事にしてほしいということゝを伝えた。11月は、絵本を用いてプライベートパーツについて知らせる保健指導を行い、体のどの部位も大事だが、特別大事なところがあり、そこは見るのも触るのも自分だけということや、特別大事なところを誰かに見られたり触られたり、嫌だと思ふことがあったりした時の対処法などを伝えた。指導後、着替えの際に友達に見られないように着替えコーナー（周りから見えないようにパーテーションで囲った場所）に行つて着替えたり、トイレや着替えをしているところを見られそうになったら「見ないで」と言ったりする子どもの姿が少しずつ見られるようになった。また、男児にトイレで排泄する際にお尻を出さないようにすることを繰り返し声かけや指導を担任としたことで、ほとんどの男児がお尻を出さずに排泄できるようになった。

次年度への改善点

取組内容①

- ・次年度も引き続き取り組む。

取組内容②

- ・次年度も引き続き、毎日・毎月の安全点検において環境整備を行う。

取組内容③

- ・次年度も「早寝、早起き、朝ごはん、排泄、歯みがき」の習慣がより身につくように指導を継続して行う。
- ・次年度も生命（いのち）の安全教育に取り組む。

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】 令和6年度末の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。 「幼稚園では、自ら絵本に親しむ子どもを育てる取り組みをしている」 「幼稚園では、遊びを通して学ぶ子どもの姿を家庭や地域に発信している」</p>	A
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗状況
<p>取組内容①【8 生涯学習の支援】 絵本室を活用して、絵本に親しむ子どもを育てる。 ----- 指標・週1回、絵本貸出しを実施する。 ・年に1回以上、保護者による絵本整理を行う。 ・年に3回以上、ふれあい絵本貸し出しを実施し、家庭と連携して絵本に親しむ子どもを育てる。</p>	A
<p>取組内容②【9 家庭・地域等と連携・協同した教育の推進】 保護者や地域と連携して、子育て支援を行う。 ----- 指標・毎月「にいたかようちえんだより」を発行し、地域の方に園の教育内容や子育てに関する情報を発信する。 ・「にいたかランド」「ももキッズ」等、地域の未就園児が参加できる活動を実施する。(ホームページ等で情報や取り組み内容を発信する) ・保護者アンケートの「ホームページは、幼稚園の教育内容や遊びを通した学びの発信に生かされている」項目で、当てはまると回答する割合を85%以上にする。</p>	B
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>取組内容① ○週1回、絵本貸出しを実施するについて ・引き続き週1回、絵本貸出しを実施した。 定期的におすすめ絵本や新しい絵本について、展示棚を活用して子どもたちに知らせたことで、今まで読んだことのない絵本にも興味をもつ子どももいた。</p> <p>○年に1回以上、保護者による絵本整理を行うについて ・10月に学級委員の方々に図書整理をしていただいた。 綺麗に整備されたことで、幼児たちも絵本の取り扱い方や、元の場所に片付けする意識が高まった。</p> <p>○年に3回以上、ふれあい絵本貸し出しを実施し、家庭と連携して絵本に親しむ子どもを育てるについて ・ふれあい絵本貸し出しを1学期に2回行った。2学期は10月と12月の2回行った。 10月・・・18人参加 12月・・・10人参加 12月は感染症の影響で欠席する子どもも多かったのが、参加人数に反映していると考えられる。</p>	

取組内容②

○毎月「にいたかようちえんだより」を発行し、地域の方に園の教育内容や子育てに関する情報を発信するについて

- ・「にいたかようちえんだより」を家庭にも配布したことで、幼稚園の取り組みについて、より一層、保護者の方に分かっていただけた。

○「にいたかランド」「ももキッズ」等、地域の未就園児が参加できる活動を実施する。（ホームページ等で情報や取り組み内容を発信する）について

- ・未就園児の園庭解放「にいたかランド」には今年度14人の登録があった。園庭解放だけでなく、絵本室の解放も行ったことで、月齢の低い子どもや気温が低い時期の参加もあった。

次年度への改善点

取組内容①

- ・次年度も引き続き、絵本貸出やふれあい絵本貸出を行い、絵本に親しむ子どもを育てる。

取組内容②

- ・次年度も引き続き、HPや広報誌で未就園児活動や、園庭解放の日程を周知する。また、次年度は在園児との交流活動を積極的に行う。

1 総括についての評価

○今年度は、運営に関する計画（最終評価）を学校協議会委員に配布し、各種データや教育活動の報告等をもとに各々の意見を集約した結果、全ての項目で目標を上回って達成していた。年度目標についてはAが妥当である。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：**安全・安心な教育の推進**

【安全・安心な教育の推進】

令和6年度末の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、お子さまにとって安全で適切な指導を行い、そのための環境づくりに取り組んでいる」

「幼稚園では、すすんであいさつをする幼児を育てる取組をしている」

「幼稚園では、保護者と連携し、幼児の思いや願いを大切にされた保育の中で、主体的に遊ぶ子どもを育てている」

達成状況の評価に関してはA評価とする。

○今年度は小学校や地域との避難訓練、防災訓練にも力を入れた。

12月、新高地域、新高小学校と関係諸機関との打ち合わせに幼稚園も参加し計画をすすめた。予定通り2月の合同避難訓練に、保護者と共に参加した。

地域の一員として参加し、様々な体験を通して、防災・減災の意識を高めることができた。

○9月に、PTA地域委員会が安全旗を持って通用門付近で見守り、安全指導をした。通園路の安全な歩き方をより意識してもらうとの趣旨で、後期は、委員会の枠をとって、全保護者の80%以上の方に安全指導に参加してもらう予定にしていた。しかし、保護者の方の安全への意識が向上し、安全な登降園が定着していたことから、2回目は実施しなかった。

○昨年度に引き続き、個人ファイルを作成し、幼児の育ちを共有した。1学期末には幼児の遊びの姿の写真をファイルし、保護者からその姿を見て感じたことをコメントしてもらい、それに返す形で幼稚園側からコメントをした。2学期末はその反対にし、幼児の遊びの姿から幼稚園側から読み取ったことをコメントし、保護者はそれに返す形でコメントをしてもらった。一人ひとりの幼児の育ちについて家庭と共有している。

○これらの活動により、

- ・「幼稚園では、お子さまにとって安全で適切な指導を行い、そのための環境づくりに取り組んでいる」について、当てはまるが97%、やや当てはまるが3%であった。

- ・「幼稚園では、すすんであいさつをする幼児を育てる取組をしている」について、当てはまるが97%、やや当てはまるが3%であった。

- ・「幼稚園では、保護者と連携し、幼児の思いや願いを大切にされた保育の中で、主体的に遊ぶ子どもを育てている」について、当てはまるが94%、やや思うが合わせて6%

であった。
以上から、目標を上回って達成していると評価された。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

令和6年度末の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、子どもが自ら興味や関心をもって身近な環境に関わり、主体的に活動する子どもを育てている」

「幼稚園では、遊びを通した学びを大切にした教育を実践している」

「幼稚園では、基本的な生活習慣を身に付けるような指導を行い、健康的な生活の基礎や体力向上につながる取り組みをしている」

達成状況の評価に関してはA評価とする。

○親子栽培では、夏野菜も冬野菜も、親子で水やりや虫の駆除をしながら、生長・収穫を楽しんだ。

○毎月の誕生会や集会の時には、新しいダンスや体操を子どもたちに知らせた。季節に応じた曲や新しい曲を探す教師の教材研究にもつながっている。

○自分の体に関心を持ち、大切にしようとする心を育むため、毎月の保健指導と共に、今年度は生命（いのち）の安全教育に関する保健指導を行った。着替えコーナーにパーテーションを設置したり、男児が小便器で排泄するとき、お尻を出さないよう繰り返し指導したりしてきたことで、少しずつ子どもの意識も変わってきている。

○これらの活動により、

- ・「幼稚園では、子どもが自ら興味や関心をもって身近な環境に関わり、主体的に活動する子どもを育てている」について、当てはまるが97%、やや当てはまるが3%であった。
- ・「幼稚園では、遊びを通した学びを大切にした教育を実践している」について、当てはまるが97%、やや当てはまるが3%であった。
- ・「幼稚園では、基本的な生活習慣を身に付けるような指導を行い、健康的な生活の基礎や体力向上につながる取組をしている」について、当てはまるが94%、やや当てはまるが6%であった。

以上から、目標を上回って達成していると評価された。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

令和6年度末の保護者アンケートにおいて次の項目について「当てはまる」と回答する割合を80%以上にする。

「幼稚園では、自ら絵本に親しむ子どもを育てる取り組みをしている」

「幼稚園では、遊びを通して学ぶ子どもの姿を家庭や地域に発信している」

達成状況の評価に関してはA評価とする。

○季節に応じた絵本や、新しい絵本、教職員のおすすめ絵本について、紹介の手紙を作成し、家庭に配布したり、展示棚を活用して知らせたりした。好きな絵本を探すのが難しい子どもも、その中から選ぶことで好きな本が見つかったり、今まで読んだことのない絵本にも興味をもつようになっていたりする姿が見られた。

○毎月「にいたかようちえんだより」を発行し、地域の回覧板や掲示板にて、地域の方に園の教育内容や子育てに関する情報を発信するとともに、家庭にも配布したことで、幼稚園の取り組みについてより一層、保護者の方にわかっていただけた。

○これらの活動により、

- ・「幼稚園では、自ら絵本に親しむ子どもを育てる取り組みをしている」について、当てはまるが88%、やや当てはまるが12%であった。
- ・「幼稚園では、遊びを通して学ぶ子どもの姿を家庭や地域に発信している」について、当てはまるが88%、やや当てはまるが12%であった。

以上から、目標を上回って達成していると評価された。